

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	静岡県立大学の男女共同参画におけるコロナ禍での地域ジェンダー平等と女性支援啓発地域連携事業に関する基礎研究				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	渡邊 聡
		所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青山 知靖
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太

講演題目	静岡県立大学の男女共同参画におけるコロナ禍での地域ジェンダー平等と女性支援啓発地域連携事業に関する基礎研究
------	---

**研究の目的、成果及び今後の展望**

【目的】男女共同参画・ダイバーシティ社会の実現に向けて、大学を含む社会の各領域での取組は、ジェンダー平等を社会発展の根幹とする認識の深化とともに拡充しつつある。一方、コロナ禍によって地域社会はあらゆる領域において未曾有の危機的状況の出現に伴い、大きな変容を余儀なくされている。こうした現状をふまえ、本研究は、特に地域社会でその必要性が増大しつつある地域におけるジェンダー平等と女性支援啓発のための地域連携事業に関する先進的事例についての資料調査、地方自治体と大学との連携研究事業に関する事例調査等の実証的研究を行うことを目的とした。

【成果】今回の調査の結果、地域の各アクターが上記の目的に沿って実施する連携事業展開は、「コロナ禍での地域ジェンダー平等と女性支援啓発」の関係性に即して多様なテーマにわたって行われている実態がまず確認された。ただし、コロナ禍によりそのすべてを実地調査することが困難を極めたため、今回は特に地域男女共同参画拠点施設を中心として、「防災と男女共同参画」を主要テーマとした事業に即して特色を整理することとした。その結果その内容は主たる目的に応じて、①コロナ禍における地域女性防災リーダー育成支援事業、②同じく地域住民全体に向けた防災と男女共同参画意識向上の啓発事業、③同じく被災女性の被災後生活記録のアーカイブ構築事業、④同じくより広範な地域ジェンダー平等・女性活躍支援啓発事業の4つの分野にほぼ分類できることが明らかとなった。このうち事業数からみて量的に多いとみられるのは①であり、近年のこのテーマへの全国的な関心の高まりを顕著に示していることが見て取れる。特に自治体と地域団体や企業等が連携した継続講座で女性防災リーダーの実践力を高める事業(仙台市)や、オンライン座学と防災プログラムづくりを組み合わせ実践力の向上を目指した事業(静岡大学と佐賀県)など特徴的な先進的事例がいくつか確認された。また②では、災害時の女性と子供に対する暴力対策を課題の1つとして取り上げる継続講座や地域内への出前講座(盛岡市)、「食」の問題を中心テーマに掲げる事業(埼玉県)、さらには防災と性的マイノリティの問題を掲げる講座(佐賀県)など、ダイバーシティの観点からより多彩で積極的なアプローチに特色ある事業も増加しつつあることが確認された。他にも、③では福島県、④では福岡県において本格的な取組が展開されつつある実情も今回の調査の成果として明らかとなった。

【今後の展望】これらの成果を踏まえ、引き続き本学における上記目的での地域との連携事業の一層の推進をめざして、今後もこの方向性での研究をさらに継承し継続的な先進好事例の情報収集と分析を行いつつ、たとえば、継続するコロナ禍での対面・遠隔ハイブリットによる実施方法の開拓によって可能となった沼津市と本学との地域男女共同参画推進連携事業等の方法の彫琢によるさらなる事業展開の模索などが重要と考えている。